

『初空 純米大吟醸 中取り原酒 瓶熟成』

「雲ひとつないような澄み渡った気持ちで」

2020年はどんな一年だったでしょうか？

新型コロナウイルスの猛威によって、去年の今頃に思い描いていた一年とは大きくかけ離れた年になったと感じます。

マスク着用、ソーシャルディスタンス、殺菌の徹底と日常生活も大きく変化しました。そんな中、今年も去年と同じ様にお酒造りを行うことが出来ているのは皆様のおかげです。

本当にありがとうございます。

さて、12月は続々と新酒も搾れてきて、半蔵通信にも載せることが出来ました。今年も自信のある新酒になっております。

今回は、「新年を「初空」で乾杯して、良い一年の幕明けを迎えていただきたい！」との想いから、急遽半蔵通信の号外を出すことに致しました。

「初空」は、35%まで精米した山田錦を用いて丁寧に醸し、低温で18ヶ月熟成させたお酒です。

今お届けしている初空は、2018年まで杜氏を務めていただき、伊勢志摩サミットに乾杯酒として選ばれるほどのお酒を醸した南部杜氏、藤井久光の渾身の一本です。

来年の今頃には、私が初めて醸した初空をお出ししていると思います。

2021年1月1日、天気が「晴れ」か「雨」か、はたまた「雪」がふるのかわかりませんが、この「初空」が新年を「雲ひとつないような澄み渡った大空」の様な晴れやかな気持ちで迎えられる、そんな一助になれると幸いです。

最後までお読みいただきありがとうございます。

良いお年をお迎えください。



原料米/山田錦
精米歩合/35%
アルコール度数/17度
720ml ¥10,000 (税別)

蔵元杜氏 大田有輝